

行政経営改革プラン2025実績報告書（令和4年度分）

資料 4

1 行政経営改革プラン2025の実績報告について

本市では、総合計画で定められたまちの未来像である「光・緑・人 輝くとよかわ」を実現するため、行政経営改革を行っています。

また、行政経営改革を着実に実施するための計画として、「行政経営改革プラン2025」を策定しました。

行政経営改革プラン2025は、令和3年度から令和7年度までの計画とし、具体的取組は、向こう3年間の計画を毎年ローリングにより策定します。

今回は、計画期間の2年目にあたる令和4年度の実績について報告します。なお、各取組の詳細は、「具体的取組評価結果」に記載しています。



2 進捗度

行政経営改革プラン2025に掲載されている32件の取組について、「ボランティア・NPO等の人材育成」の取組みが、1年早くまちづくりコーディネーター人材バンクを設置し、養成講座を開催したため「改革工程より早い」となっています。その他31件の取組については、「改革工程どおり」の進捗度となっています。

3 目標指標評価

目標指標評価で目標値を上回る取組（◎評価）と下回る取組（△評価）を抜粋しました。

評価	取組件数
◎：目標値を上回る	12
○：目標値を概ね達成した	6
△：目標値を下回る	8
—：該当なし	6
計	32

目標指標評価

目標値を上回る取組

- 件名/目標値/実績値
- ◎町内会加入の促進(P.1)/54,135→54,516【世帯】
 - ◎ボランティア・NPO等の人材育成(P.9)/250→271【人】
 - ◎とよかわ環境パートナーシッププロジェクト(P.19)/6→7【団体】
 - ◎企業連携による生涯学習講座開催の促進(P.21)/35→42【講座】
 - ◎AI等情報技術利用による業務効率化の推進(P.25)/60→79【件】
 - ◎行政手続のオンライン化の推進(P.27)/200→368【件】
 - ◎リモート接続環境整備(P.29)/900→1,870【回】
 - ◎広報に関する職員の意識改革の実施(P.35)/90→97.5【%】
 - ◎とよかわ応援寄附金事業の推進(P.41)/310→386【品目】
 - ◎市債残高の削減(P.45)/1.0→△1.0【%】
 - ◎施設の見直し及び処分(P.49)/493,500→491,149【㎡】
 - ◎内部統制研修等の実施(P.77)/95→97.2【%】

目標値を下回る取組

- 件名/目標値/実績値
- △市民活動団体の支援(P.11)/6→4【事業】
 - △地方創生に関する包括連携協定(P.13)/18→17【団体】
 - △スポーツイベント開催支援(P.23)/6,000→3,569【人】
 - △シティセールスの推進(P.33)/3,389,000→2,990,253【件】
 - △財務事務に係るリスク管理の推進(P.75)/7→29【件】
 - △障害者活躍推進計画に係る取組の推進(P.81)/2.8→2.55【%】
 - △男性職員の育児休業取得率の上昇(P.83.)/75→50.8【%】
 - △時間外勤務時間数の縮減(P.85)/5→△1.8【%】

4 総合評価

総合評価でA評価の取組とC評価の取組を抜粋しました。

評価	取組件数
A	11
B	16
C	5
計	32

総合評価

A評価の取組

- 町内会加入の促進(P.1)
 - 理由：工程どおりに事業を進め、実績値も目標値を上回ることができたため。
- ボランティア・NPO等の人材育成(P.9)
 - 理由：まちづくりコーディネーター人材バンクの設置を工程より早く着手し、実績値も目標値を上回ることができたため。
- とよかわ環境パートナーシッププロジェクト(P.19)
 - 理由：目標値を上回る事業所を登録することができ、各種協働事業を展開することができたため。
- 企業連携による生涯学習講座開催の促進(P.21)
 - 理由：新たな分野への連携協議を行うことができ、目標値を大幅に上回る実績となったため。
- AI等情報技術利用による業務効率化の推進(P.25)
 - 理由：活用事例の紹介やRPAを学べる機会を提供したことで、各課の利用件数が増加したため。
- 行政手続のオンライン化の推進(P.27)
 - 理由：子育てや介護等の手続きのオンライン化を推進したことで市民の利便性の向上を図ることができたため。
- リモート接続環境整備(P.29)
 - 理由：各種会議等のリモートに対応するため、職員が主催・参加する環境整備を継続することができたため。
- 広報に関する職員の意識改革の実施(P.35)
 - 理由：事後アンケートで肯定的な評価が97.5%であり、職員の意識改革を行うことができたため。
- とよかわ応援寄附金事業の推進(P.41)
 - 理由：目標値を上回る実績値となったため。

- 市債残高の削減(P.45)
 - 理由：他の財源を有効活用し市債借入額を元金償還額以内とし、残高を削減することができたため。
- 組織の適正化(P.65)
 - 理由：組織の新設や体制の整備により事務の合理化ができ、行政サービスの向上につながると考えるため。

C評価の取組

- スポーツイベント開催支援(P.23)
 - 理由：新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催はできたが、目標値を大きく下回ったため。
- 財務事務に係るリスク管理の推進(P.75)
 - 理由：リスクの発現に対し再発防止に向けた協議やリスク管理シートの修正などを行ったが、目標値を下回ったため。
- 障害者活躍推進計画に係る取組の推進(P.81)
 - 理由：法定雇用率を達成することはできたが、障害者生活推進計画に定めた目標値には達しなかったため。
- 男性職員の育児休業取得率の上昇(P.83)
 - 理由：育児休業は前年度と比べて取得率も上がっているが、育児参加休暇等の取得率は前年度に比べて下がっているため。
- 時間外勤務時間数の縮減(P.85)
 - 理由：前年度と比べて1人当たりの平均時間外勤務時間数が3.3時間増加し、縮減率も目標値を大きく下回ったため。育児参加休暇等の取得率は前年度に比べて下がっているため。

5 次年度以降の取組について

計画期間の2年目にあたる令和4年度については、32件の取組のうち27件の取組でB評価以上となり、目的達成に向けて順調に進んでいると言えます。しかし、前年度から評価を下げている取組もあるため、さらなる事業の工夫や見直しが必要となっています。計画期間の最終年である令和7年度に、各取組が目的達成できるよう、計画的に努めていきます。